

注 釈 関 係 資 料 ( 事 例 編 )



# 目次

## 第2章 発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実方策

学校教育全体を通してキャリア教育を実践している例 .....	2 2 5
キャリア教育に関連する目標・内容及び教育活動の例 (小学校・中学校・高等学校) .....	2 2 9

## 第3章 後期中等教育におけるキャリア教育・職業教育の充実方策

「産業社会と人間」の取組例 .....	2 3 2
高等学校普通科における職業教育の実践例 .....	2 3 4
専門高校における職業教育の実践例 .....	2 3 5
専門高校における施設・設備等を効率的・効果的に活用している例 .....	2 3 9
不登校や中途退学を経験している生徒等の受入れに対応している専修学校 高等課程の例 .....	2 4 0

## 第4章 高等教育におけるキャリア教育・職業教育の充実方策

高等教育におけるキャリア教育の取組 .....	2 4 1
(ア) 入学前段階や入学初年次における、後期中等教育からの円滑な接続や 学びへの意欲の向上のための教育上の配慮 .....	2 4 2
(イ) 教育課程の中に位置付けられたキャリア教育 .....	2 4 4
(ウ) 入学から卒業までを見通したキャリア教育 .....	2 4 5
(エ) 身に付けるべき知識や能力の明確化と到達度の評価 .....	2 4 7
(オ) 一人一人のキャリア形成を促進させる支援 .....	2 4 9
(カ) 男女共同参画の視点を踏まえたキャリア教育 .....	2 5 2
(キ) 後期中等教育と高等教育の連携 .....	2 5 4
到達度評価について .....	2 5 5
大学・短期大学における職業実践的な教育の事例について .....	2 5 9

## 第5章 生涯学習の観点に立ったキャリア形成支援の充実方策

学校から社会・職業へ生活が移行した後の学習者に対する支援.....	262
進路が決まっていない新規高等学校卒業者に対し、教育機関を活用して職業教育の場を提供している例.....	269
中途退学者や無業者などのキャリア形成のための支援.....	270
学校・教育委員会と地域若者サポートステーションが連携している例.....	272
図書館において職業に関する情報を提供している例.....	273

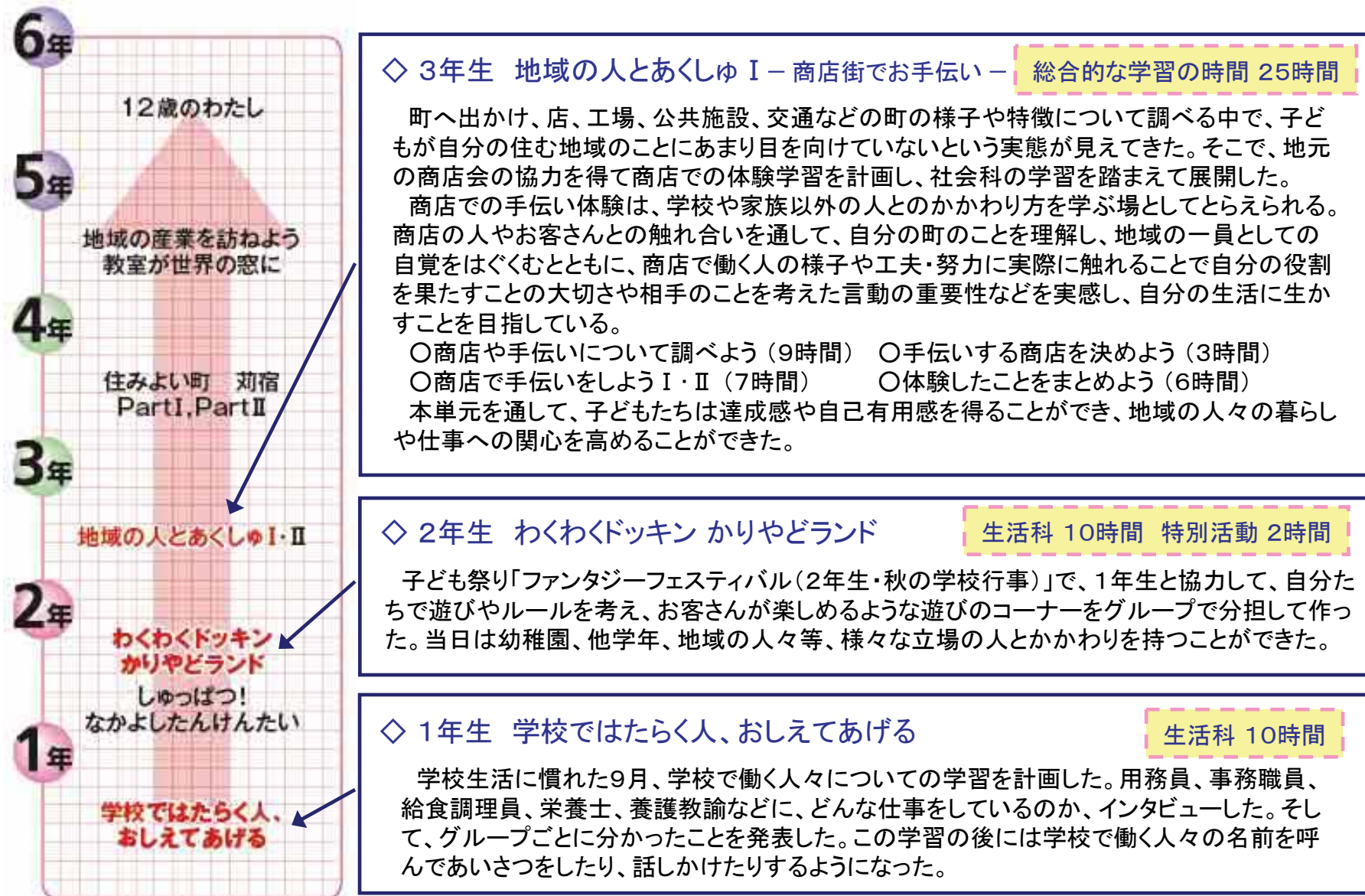
## 第6章 キャリア教育・職業教育の充実のための様々な連携の在り方

協議会等の設置により、キャリア教育・職業教育を円滑に進めている例.....	274
---------------------------------------	-----

※ 各資料中、資料原典の記載がないものは、各学校のホームページ等に基づき、文部科学省が作成。

# 学校教育全体を通してキャリア教育を実践している例 ① ～ 神奈川県川崎市立荻宿小学校 ～

● キャリア教育の視点からの様々な教育活動の見直しと、地元商店街との連携による体系的な実践

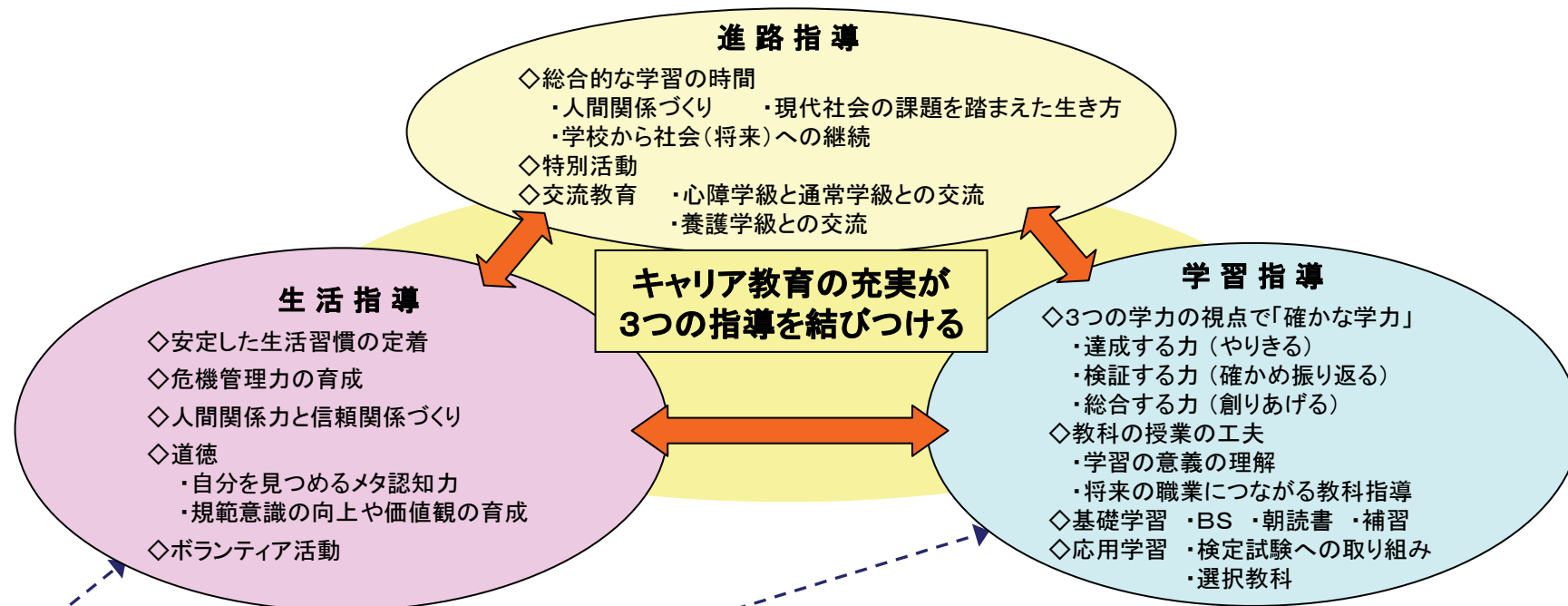


(出典) 国立教育政策研究所 生徒指導研究センター

「自分に気付き、未来を築くキャリア教育」(小学校向けキャリア教育推進パンフレット)(平成21年3月)より作成

## 学校教育全体を通してキャリア教育を実践している例 ② ～ 東京都墨田区立寺島中学校 ～

- 「現代から将来にかけて、自己の取り巻く社会の中で、自分を生かしていける生徒」「自分のよさを知り、目標を掲げて、自分を高めていける生徒」の育成を目指している。
- キャリア教育の充実により、進路指導・生徒指導(生活指導)・学習指導の3つの指導を結びつけている。



・ 将来の職業的な自立・社会的な自立を長期的な目標にすえた指導

生徒は、将来への展望を持たせることで現在の生活を振り返らせると、現在の生活の改善の意義に気付き、意図的・計画的な生活を送ろうとする

・ 学校で学ぶことが、将来、社会でどのように役立つのかを理解させることを重視。

・ 教科の学習では、今、学校で学習していることと将来との関連を理解させた上での学習をさせるため、「学習の意義」を各教科まとめて一冊にして生徒・保護者に渡し、面談や学級活動での学習のガイダンスに使用するなど、「学習の意義、目的」の理解による意欲的な学習を促進。

・ 総合的な学習の時間では、テーマを「自己を生かすー今も、そして将来もー」とし、以下の視点で学習活動を組み立てる。

- ① 人間関係形成能力と適応能力を高める ② 生涯という長いスパンで生き方(ライフプラン)を考える

・ 道徳では、以下の点をねらいとする。

- ① 「自分を見つめる力」を高めさせる ② 規範意識の向上や価値観の育成

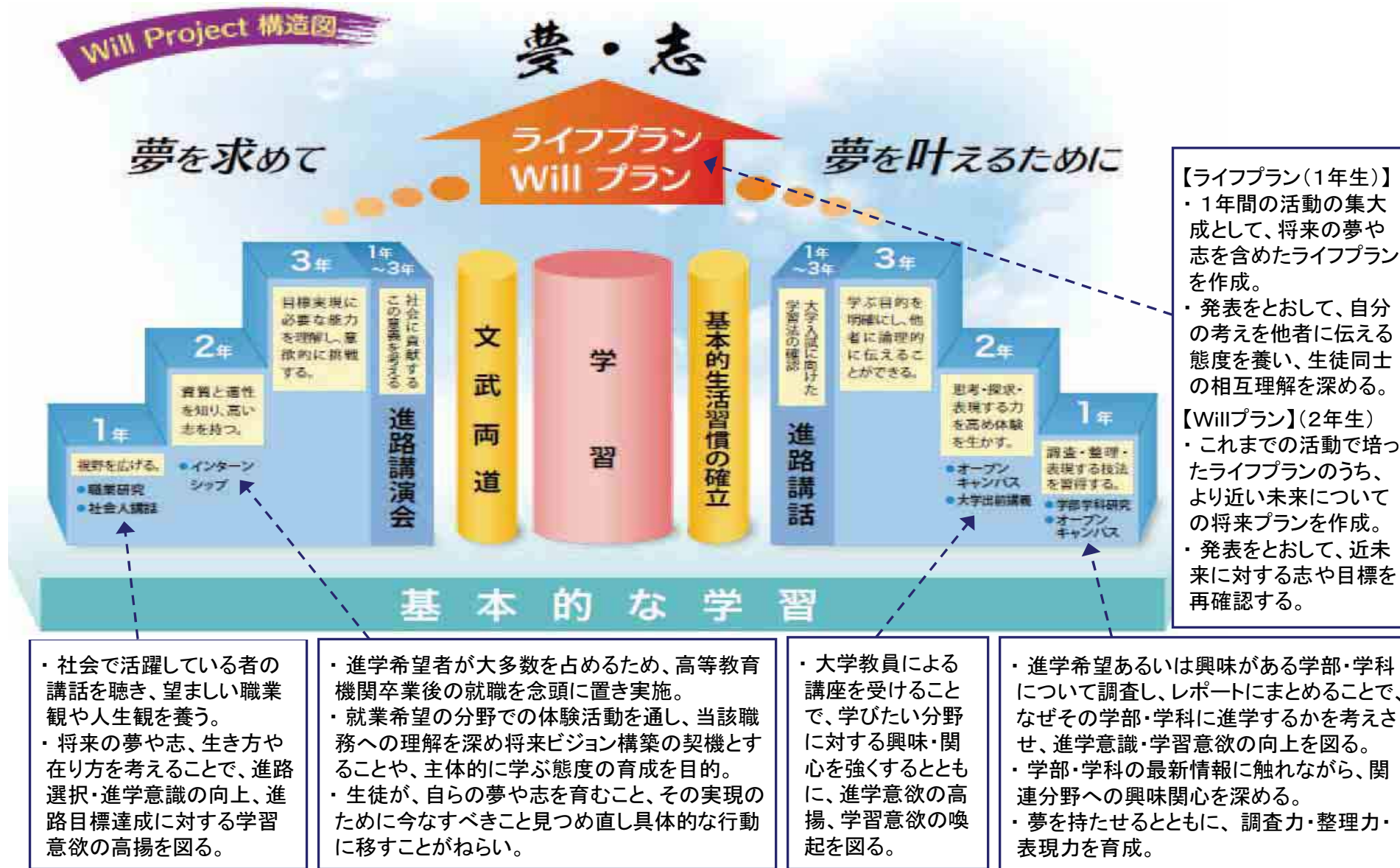
・ 特別活動では、以下の点をねらいとする。

- ① 集団の中で協力して課題に取り組める自分を作る ② 自分自身と他人のことを知る

(出典) 国立教育政策研究所 生徒指導研究センター「キャリア教育 体験活動事例集(第1分冊)」(平成20年3月)より作成

# 学校教育全体を通してキャリア教育を実践している例 ③ ～ 秋田県立能代高等学校（普通科・理数科）～

- 生徒に「大きな夢と高い志」を持たせ、自己の可能性に挑戦する気概を育てることを目的とした取組である「Will Project」において、キャリア教育を実践。



(出典) 秋田県立能代高等学校

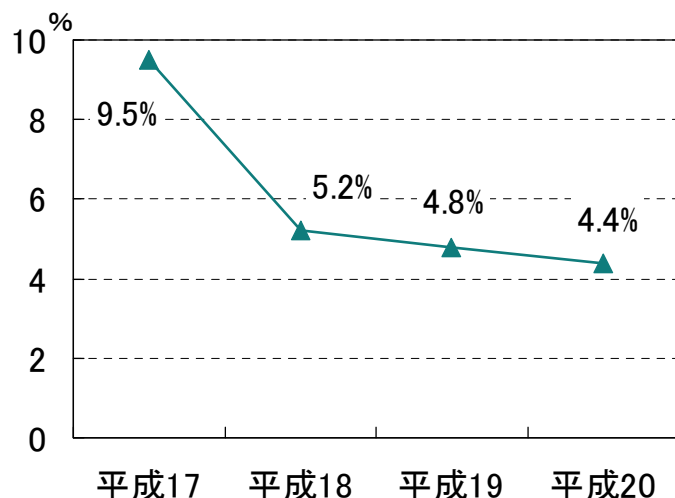
「文部科学省指定『高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究』平成20年度 実施報告書(2年次)」より作成



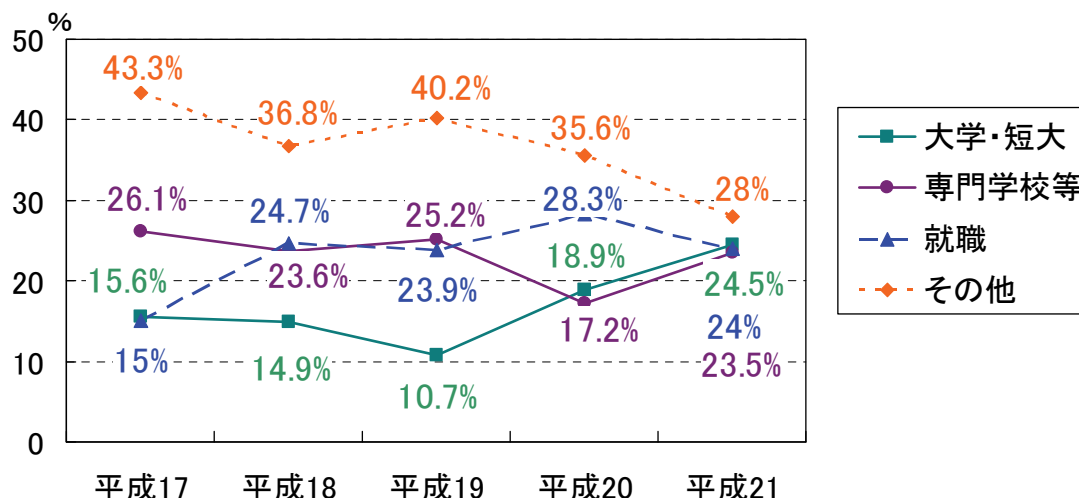
## 学校教育全体を通してキャリア教育を実践している例 ④ ～ 神奈川県立田奈高等学校（普通科）～

- 「キャリア教育の充実」「授業改善の研究」「学習を支える条件の整備」の3つを通じ、生徒の学習への意欲を引き出し、学力の向上へつなげる取組を実施。
- 1学年の「総合A」(2単位)、2学年の「総合B」(1単位)を柱に、学校教育活動全体でキャリア教育を展開。教員と生徒が対話できる環境づくり(例:1学年教室の近くに「学年室」を置く)など一人一人の生徒に合わせたきめ細やかな指導を通じ、生徒が自らの将来に希望を持てるように支援。
  - ※ 総合A …「環境と自分」をテーマ。総合学科の「産業社会と人間」を参考に、学校独自のテキストを作成。職場見学体験や職業ガイダンス等を通じ、仕事の世界を知り自分自身の将来について考える「進路研究編」、日常生活に潜む様々な課題やリスクについて考える「生活研究編」で構成。(平成21・22年度については、「生活・進路研究活動」として実施)
  - 総合B …「インターンシップ」「専門学校実習」「アルバイトから考える(卒業生の職場を訪問)」などキャリア教育に関する講座を含めた12の講座を実施。生徒はその中から講座を選択。
- 平成21年度より、生徒も教員も学んでいることを振り返ることができる仕組みとして「ポートフォリオ」を導入。
- 平成21年度より、神奈川県教育委員会は、「クリエイティブスクール」(学習意欲を高める全日制課程の新たな学校のしくみづくり)として指定。
- これらの取組の実践を通じ、中途退学率や進路未決定率の低下、キャリア教育プログラムへの生徒の高い評価、生徒の学習意欲の向上などの成果が現れている。

【中途退学率の推移】



【進路状況の推移】



(出典) 神奈川県立田奈高等学校

「文部科学省指定『学力向上拠点形成事業 ～確かな学力育成のための実践研究事業～』平成20年度 実践研究報告(第3年次)」等より作成



# キャリア教育に関連する目標・内容及び教育活動の例(小学校・中学校・高等学校)

※ この資料は、学習指導要領の記述の中から、キャリア教育に関連する内容を、各学校段階の比較を中心に中央教育審議会事務局で整理したものであり、キャリア教育に関連する内容はこれに限らない。

	小学校			中学校			高等学校		
	学習指導要領の記述例		教育活動の例	学習指導要領の記述例		教育活動の例	学習指導要領の記述例		教育活動の例
	目標	内容、配慮事項等		目標	内容、配慮事項等		目標	内容、配慮事項等	
社会	地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚を持つようにする。(第3・4学年)	地域の人の生産や販売について、～、それらの仕事について携わっている人々の工夫を考慮するようにする。(第3・4学年)  地域社会における災害及び事故の防止について、～、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考慮するようにする。(第3・4学年)	農家・工場・商店の仕事の様子を観察や働いている人から話を聞く活動を通して、生産や販売の仕事の工夫と自分たちの生活とのかかわりについて気付く。	【公民的分野】 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、現代社会についての見方や考え方の基礎を養うとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。	(1) 私たちと現代社会 現代社会をとらえる見方や考え方 人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。	現代社会の持つ特色や現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を具体的に体験的事例を取り上げながら理解する。	【公民 現代社会】 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。	人々の多様な価値観を背景に生じる衝突や対立、社会的な課題など、現代社会の諸問題を自らの在り方生き方と関連させて考察する。
	我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。(第5学年)	我が国の農業や水産業について、～、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いのかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。(第5学年)  食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き	食料生産の盛んな地域で生産に従事している人々に手紙などを書いたり、インターネットで生産地が発信する情報を集めたりして、生産地と消費地を結ぶ運輸の動きを理解する。						
理科	自然に親しみ、見通しをもつて観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての科学的な見方や考え方を養う。	個々の児童が主体的に問題解決を進めるとともに、学習の成果と日常生活との関連を図り、自然の事物・現象について理解できるようにすること。	野外に出掛け、地域の自然に直接触れることを通し、学習したことを実際の生活環境と結び付けて考えるとともに、自分の生活している地域を見直し理解を深め、地域の自然への関心を高める。	自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていることに触れること、また、理科で学習している技術などが様々な職業などと関係していることにも触れること。	自然の事物・現象とのかかわりや職業に言及したり、科学技術に関係する職業の人の話を聴かせるなど、理科の学習で養った科学的な見方や考え方が職業に生かされることに触れる。	【科学と人間生活】 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	(2) 人間生活の中の科学 身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。	自然と人間生活のかかわり、科学技術が人間生活に果たしてきた役割に関する学習を踏まえた課題を設定し、これからの科学と人間生活とのかかわりについて考察する。
	【生活】 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心をもち、地域のかかわりに関心をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。(第1・2学年)	自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかがわっているのよきよき、愛着をもつことができるようにするとともに、安全で適切な行動ができるようにする。	地域の店や公園などを訪問したり利用したり、そこで働く人々や利用する人々にインタビューしたりするなどの活動により、マナーを守ることや互いに気持ちよく生活できるといった体験を重ね、児童自らが人々と適切に接する大切さを感じ、その接し方を身に付けるようにする。	【技術・家庭 技術分野】 ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、これらに評価し活用する能力と態度を育てる。  【技術・家庭 家庭分野】 衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。	A 材料と加工に関する技術 (1) 生活や産業の中で利用されている技術について、次の事項を指導する。 ・ 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えること。 ・ 技術の進展と環境との関係について考えること。	工夫・創造の喜びを体験する中で、勤務観や職業観、協調する態度を身に付ける。	【家庭 家庭総合】 人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	(5) 生涯の生活設計 生活設計の立案を通して、生涯を見通した自己の生活について主体的に考えることができるようにする。  ライフスタイルと生活設計 自己のライフスタイルや将来の家庭生活と職業生活の在り方について考えさせるとともに、生活資源を活用して生活を設計できるようにする。	人の一生における就職や結婚などの重要な課題を認識し、自分の目指すライフスタイルを実現するために、経済計画も含めた生涯の生活設計に取り組む。

	小学校		中学校		高等学校	
	学習指導要領の記述例		学習指導要領の記述例		学習指導要領の記述例	
	目標	内容、配慮事項等	目標	内容、配慮事項等	目標	内容、配慮事項等
道徳教育	<p>【総則】</p> <p>学校における道徳教育は、道徳の時間を要して学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳の時間はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達段階を考慮して、適切な指導を行わなければならない。</p> <p>道徳教育を進めるに当たっては、教師と児童及び児童相互の人間関係を深めるとともに、児童が自己の生き方についての考えを深め、家庭や地域社会との連携を図りながら、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験を通して児童の内面に根ざした道徳性の育成が図られるよう配慮しなければならない。その際、特に児童が基本的な生活習慣、生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間としていかならないことをしないようにすることなどに配慮しなければならない。</p>	<p>道徳教育を進めるに当たっては、教師と児童及び児童相互の人間関係を深めるとともに、児童が自己の生き方についての考えを深め、家庭や地域社会との連携を図りながら、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験を通して児童の内面に根ざした道徳性の育成が図られるよう配慮しなければならない。その際、特に児童が基本的な生活習慣、生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間としていかならないことをしないようにすることなどに配慮しなければならない。</p>	<p>【総則】</p> <p>学校における道徳教育は、道徳の時間を要して学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳の時間はもとより、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達段階を考慮して、適切な指導を行わなければならない。</p> <p>道徳教育を進めるに当たっては、教師と生徒及び生徒相互の人間関係を深めるとともに、生徒が道徳的価値に基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、家庭や地域社会との連携を図りながら、職場体験活動などの豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成が図られるよう配慮しなければならない。その際、特に生徒が自他の生命を尊重し、規律ある生活ができ、自分の将来を考え、法やきまりの意義の理解を深め、主体的に社会の形成に参画し、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けるようにすることなどに配慮しなければならない。</p>	<p>道徳教育を進めるに当たっては、教師と生徒及び生徒相互の人間関係を深めるとともに、生徒が道徳的価値に基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、家庭や地域社会との連携を図りながら、職場体験活動などの豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成が図られるよう配慮しなければならない。その際、特に生徒が自他の生命を尊重し、規律ある生活ができ、自分の将来を考え、法やきまりの意義の理解を深め、主体的に社会の形成に参画し、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けるようにすることなどに配慮しなければならない。</p>	<p>【総則】</p> <p>～生徒が自己探求と自己実現に努め国家・社会の一員としての自覚に基づき行為しうする発達の段階にあることを考慮し人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行う～</p> <p>道徳教育を進めるに当たっては、特に、道徳的実践力を高めること、自他の生命を尊重する精神、自律の精神及び社会連帯の精神並びに義務を果たし責任を重んずる態度及び人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養うための指導が適切に行われるよう配慮しなければならない。</p>	<p>「現代社会」において、様々な現代社会の諸課題を取り上げて考察させ、議論などを通して自分の考えをまとめたり、説明したり、論述したりする。</p> <p>「倫理」において、先哲の考え方を取り上げて、自分自身の判断基準を形成するために必要な倫理的な諸価値について理解と思索を深める。</p>
	<p>【道徳】</p> <p>各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を育成する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>主として自分自身に関すること</li> <li>より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。</li> <li>主として他の人とのかわりに関すること</li> <li>謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。</li> <li>主として集団や社会とのかわりに関すること</li> <li>身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。</li> <li>働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。</li> </ol>	<p>主として自分自身に関すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。</li> <li>主として他の人とのかわりに関すること</li> <li>それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつてを理解し、寛容の心をもち謙主として集団や社会とのかわりに関すること</li> <li>自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。</li> <li>勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。</li> </ol>	<p>【道徳】</p> <p>各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>主として自分自身に関すること</li> <li>より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。</li> <li>主として他の人とのかわりに関すること</li> <li>自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。</li> <li>勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。</li> </ol>	<p>主として自分自身に関すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。</li> <li>主として他の人とのかわりに関すること</li> <li>それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつてを理解し、寛容の心をもち謙主として集団や社会とのかわりに関すること</li> <li>自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。</li> <li>勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。</li> </ol>	<p>道徳教育を進めるに当たっては、特に、道徳的実践力を高めること、自他の生命を尊重する精神、自律の精神及び社会連帯の精神並びに義務を果たし責任を重んずる態度及び人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養うための指導が適切に行われるよう配慮しなければならない。</p>	
総合的な学習の時間	<p>横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方考えることができるようになる。</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。</p> <p>学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、児童の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。</p> <p>自然体験やボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。</p>	<p>身近な地域を観察・調査し、地域の特色を捉え、地域社会の一員としての自覚をもたせる（第3学年・社会科と連携）</p> <p>地域の人や身近な人へのインタビューや様々な職業について調べ、自分の将来の目標を立て、自分がやってみたいと思ふ仕事を見つける（第6学年）</p>	<p>横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方考えることができるようになる。</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。</p> <p>学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。</p> <p>自然体験や職場体験活動、ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。</p> <p>職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方考えるなどの学習活動が行われるようにすること。</p>	<p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。</p> <p>学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと。</p> <p>自然体験や職場体験活動、ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。</p> <p>職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方考えるなどの学習活動が行われるようにすること。</p>	<p>横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方考えることができるようになる。</p> <p>各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。</p> <p>自然体験や就業体験活動、ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験・実習、調査・研究、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。</p>	<p>自分の希望する進路について、近隣の大学等の訪問や関係施設での就業体験など、生徒一人一人が、自己の希望する進路に沿った探究的な学習</p> <p>地域の特産品や地域の伝統的な産物について探究的に学習し、町おこしにつながる商品開発や、商品の販売活動等、地域社会への参画や貢献につながる学習</p>

	小学校			中学校			高等学校		
	学習指導要領の記述例		教育活動の例	学習指導要領の記述例		教育活動の例	学習指導要領の記述例		教育活動の例
	目標	内容、配慮事項等		目標	内容、配慮事項等		目標	内容、配慮事項等	
特別活動	<p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。</p>		<p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。</p>		<p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。</p>				
	<p>【学級活動】 学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。</p>	<p>(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全 希望や目標をもって生きる態度の形成 望ましい人間関係の形成 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解</p>	<p>・学校生活・学級生活についての話し合い・集会活動 ・清掃、給食、日直、飼育、栽培などの当番活動</p>	<p>【学級活動】 学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。</p>	<p>(2) 適応と成長及び健康安全 自己及び他者の個性の理解と尊重 社会の一員としての自覚と責任 望ましい人間関係の確立</p> <p>(3) 学業と進路 学ぶことと働くことの意義の理解 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用 進路適性の吟味と進路情報の活用 望ましい勤労観・職業観の形成 主体的な進路の選択と将来設計</p>	<p>・卒業生や社会人・職人による講話 ・地域の身近な出来事についての話し合い ・望ましい人間関係の在り方についての話し合い ・学ぶこと・働くことについて発表・ディベート ・学習過程の振り返り ・上級学校調べ ・職場体験活動 ・ライフプラン・進路計画の作成・発表 ・身近な職業と職業選択についての話し合い</p>	<p>【ホームルーム活動】 ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。</p>	<p>(2) 適応と成長及び健康安全 自己及び他者の個性の理解と尊重 社会生活における役割の自覚と自己責任 コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立</p> <p>(3) 学業と進路 学ぶことと働くことの意義の理解 主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用 教科・科目の適切な選択 進路適性の理解と進路情報の活用 望ましい勤労観・職業観の確立 主体的な進路の選択決定と将来設計</p>	<p>・卒業生や社会人・職人による講話 ・社会の出来事についての話し合い ・望ましい人間関係の在り方についての話し合い ・学ぶこと・働くことについて発表・ディベート ・学習過程の振り返り ・学校図書館の利用 ・オリエンテーション ・生涯学習機会や上級学校調べ ・就業体験活動 ・ライフプラン・進路計画の作成・発表 ・職業生活、働くことと生きがいについての話し合い ・進路選択の結果とその受け止め方についての学習</p>
	<p>【児童会活動】 児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。</p>	<p>・児童会の計画・運営 ・異年齢集団による交流 ・学校行事へ協力</p>	<p>【生徒会活動】 生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。</p>	<p>・生徒会の計画・運営 ・異年齢集団による交流 ・学校行事へ協力</p>	<p>【生徒会活動】 生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。</p>	<p>・生徒会の計画・運営 ・異年齢集団による交流 ・学校行事へ協力</p>
	<p>【学校行事】 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学級の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。</p> <p>(5) 勤労生産・奉仕の行事 勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。</p>	<p>・ボランティア活動 ・飼育栽培活動 ・地域や公共施設の清掃活動 ・福祉施設との交流</p>	<p>【学校行事】 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>全校又は学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。</p> <p>(5) 勤労生産・奉仕の行事 勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職場体験などの職業や進路にかかわる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。</p>	<p>・職場体験活動 ・ボランティア活動 ・地域社会への協力 ・上級学校・企業訪問</p>	<p>【学校行事】 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。</p> <p>(5) 勤労生産・奉仕の行事 勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、就業体験などの職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと。</p>	<p>・就業体験活動 ・ボランティア活動 ・地域社会への協力 ・上級学校・企業訪問</p>
<p>【クラブ活動】 クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。</p>	<p>・クラブの計画・運営 ・異年齢集団による交流</p>							

※ 中学校・高等学校において、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動は、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものである。



# 「産業社会と人間」の取組例①

## 東京都立晴海総合高等学校

### 【目標】

- ・ 卒業後の進路や生き方について考える
- ・ 2年生からの「系列」及び「科目」を選択する考え方や態度を養う
- ・ 学ぶことの意義について理解を深める
- ・ 学び方(Learning Skill)を学ぶ
- ・ 社会の変化を踏まえ、未来社会でも個性を発揮することを考える

### 【主な内容】

- ・ 班別調査学習(発表内容の検討 → レジューメ等の資料作成 → 発表会)  
→ ・ 現代社会の課題について考える
  - ・ 社会における自己の活かし方を考える
  - ・ プレ課題研究(2年次)課題研究(3年次)につながる調査方法・発表表現の習得する
- ・ 職場訪問(事前説明・職業に関する講演会 → 職場訪問 → 報告会)  
→ ・ 職業の世界(事業・組織・社会)を知る
  - ・ 勤労観・職業観を育成する
  - ・ 社会規範を知る
  - ・ コミュニケーション能力を高める
  - ・ まとめ、発表する力を高める
- ・ ライフプラン作り(自分史の作成 → 発表原稿の作成 → 発表会)  
→ ・ 自分の将来像を具体的にイメージさせ、暫定的な目標の設定をし、夢の実現に向かう行動
  - ・ 現在の自分の生活を省みる
  - ・ 友人のライフプランから学ぶ
  - ・ お互いの個性を活かす態度を身につける

## 愛知県立岩倉総合高等学校

### 【目標】

- ・ 様々な活動(講演・調査研究・見学・体験など)を通して、自らの進路や将来のあり方について、考えを深め、より望ましい生き方を探求する

### 【主な内容】

- ・ 校外学習(企業・大学の見学 → 発表会準備 → 発表会)  
→ 「調べる力」「聞く力」「まとめる力」「発表する力」の土台作り
- ・ 地域の産業見学(企業見学 → 発表会準備 → 発表会)  
→ 地域の産業理解、職業と地域の関連、身だしなみやマナーの大切さなどを学び、勤労観・職業観を育成
- ・ 「社会人講師の先生を囲んで」講演会  
(地域の経営者との座談会・体験学習 → 発表会準備 → 発表会)  
→ 今後の人生や職業を体感するとともに、様々な職業の人が社会を支えていることを理解
- ・ 研究報告書の作成・発表  
→ 1年間の自分の取組や成長を客観的に振り返り、それを発表することにより、キャリア力(人生づくりの力)の育成を図る

## 「産業社会と人間」の取組例②

### 筑波大学附属坂戸高等学校

#### 【目標】

- ・ 様々な体験的学習を通して自己を見つめ、将来について考え、2、3年次の履修計画を作成する
- ・ 産業や社会について学び、産業の意義や使命を理解し、どうしたら社会をもっとよくなるかを考える

#### 【主な内容】

- ・ 社会人講師の講演会、菜園づくり  
→ 色々な体験を通して、自分の適性を把握する。菜園づくりを通して食の生産を含む社会の在り方を考える
- ・ 社会人講話と職場実習、上級学校見学会  
→ 職業や上級学校を知り、進路を考える
- ・ 特別支援学校との交流会、福祉体験  
→ 自分の立場と違う人を知り、自分を見つめ直すとともに、社会の在り方を考える
- ・ ライフプランの作成（発表準備 → 発表会）  
→ 履修計画を作成する過程における考えを整理し、決意を固めるとともに級友たちの考えを知る

### 大分県立日田三隈高等学校

#### 【目標】

- ・ 自分を知る、社会を知る、自分と社会の接点を知る
- ・ 「調べる力」「まとめる力」「発表する力」「聞く力」の4つの力を身につけ、これを「生きる力」に結びつける
- ・ 自ら進んで進路を選択していく能力を身につける

#### 【主な内容】

- ・ 進路学習（職業調査・調査 → 発表準備 → 発表会）  
→ 活動を通じて4つの力を養い、これまで興味・関心の無かった職業を理解するとともに、発表会等で進路情報を共有することで、社会を知る。
- ・ 職場見学・上級学校見学  
（事前調査 → 報告書作成・共有 → 見学 → 発表準備 → 発表会）  
→ 職場や上級学校の実際を知ることで、進路に対する視野を広げるとともに、自らすすんで進路を選択する能力を養う。
- ・ 「この人に学ぶ」  
（職業人調査：“この人”の選定 → 面接調査 → 発表準備 → 発表会）  
→ 個人での活動を通じて4つの力を高めるとともに、得られた進路情報を共有し、職業を通じた在り方生き方について考える。4つの力を総動員する。
- ・ 「キャリアプラン・ライフプラン」の作成（発表準備 → 発表会）  
→ 1年間の学習をもとに、今後の2年間及び生涯を見据えた自己の在り方生き方をシミュレーションする。4つの力の集大成を図る。
- ・ 「3年生に学ぶ」「卒業生に学ぶ」  
→ 身近な先輩に学ぶことで、自分の近未来像を描く。これからの高校生活への意欲を喚起するとともに、様々な職業についての理解を深める。

※ すべての活動において、「調べる・まとめる・発表する・聞く」ことを繰り返し、全員がホームルームで発表し、ホームルーム代表が学年発表会に臨む。（全員が主役となる）

# 高等学校普通科における職業教育の実践例 ～ 大阪府立布施北高等学校 ～

- 就職希望者が多いことなどを背景として、平成16年度より、地元東大阪市の企業・施設の協力を得て「デュアルシステム」に取り組むことにより、「良き社会人、職業人」となるための訓練を、学校と地域の企業・施設と協働で実施。
- 平成16年度、文部科学省「専門高校等における『日本版デュアルシステム』推進事業」において研究指定(3年間)平成18年度より、「デュアルシステム専門コース」を設置。平成21年度は、2・3年次でデュアルクラスを編成。
- 学校設定教科「デュアル」の科目として、2年次に「デュアル実習Ⅰ」(6単位)、「デュアル基礎」(2単位)、3年次に「デュアル実習Ⅱ」(6単位)、「デュアル演習」(2単位)を開設。希望者は2年次より選択。

※ デュアル実習Ⅰ … 年間を通じて、週1日、企業・施設での実習を行う。実習を通じて、自らのキャリアへの意識を高め、「在学中に何を学ぶか、何をすべきか」を考える。また、多様な価値観の中で物事を判断し、社会で生きる力をつける。

デュアル基礎 … 実習を振り返り、自分にとっての学びを確認する。また、レポート作成やプレゼンテーションを通じて、社会で必要とされるコミュニケーション能力(聞く力、話す力、まとめる力、書く力)を養う。

デュアル実習Ⅱ … 年間を通じて、週1日、企業・施設での実習を行う。実習を通じて、自らのキャリアへの意識を高め、自らの進路実現に向けた自己開発を積極的に行う。また、多様な価値観の中で物事を判断し、人間力を育てる。

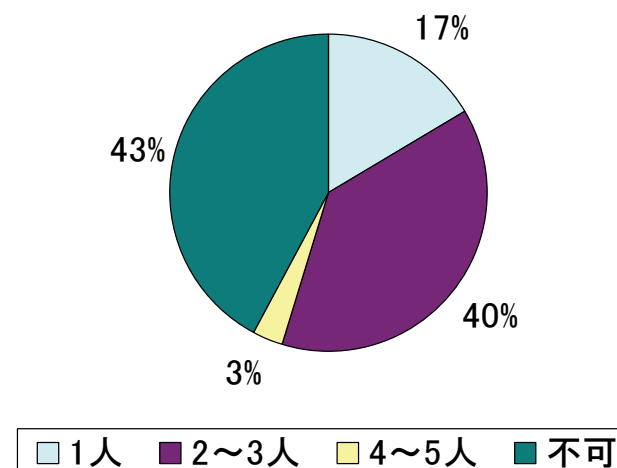
デュアル演習 … 実習を通じて学び得たことを、発展・発信する。また、模擬的に企業の活動に参加し、経営者の視点を学ぶ。

- その他、「マナー講習会」「講演会」「プレゼンテーション講習会」などの講習・講演の開催や、「企業・施設見学」「地域のイベントへの参加」「デュアル実習発表会」などの行事を実施。

※ 実習分野別デュアル実習生徒数

【参考】企業の受入れ人数(平成18年3月)

		合計	保育 幼児教育	介護 福祉看護	営業 販売	製造 現業
H17		17	3	5	4	5
H18		27	10	5	4	8
H19	前期	57	35	7	6	9
	後期	55	25	7	11	12
H20	前期	52	22	8	11	11
	後期	51	20	6	12	13



(出典) 大阪府立布施北高等学校「平成20年度 デュアルシステム専門コース 報告集」等より作成

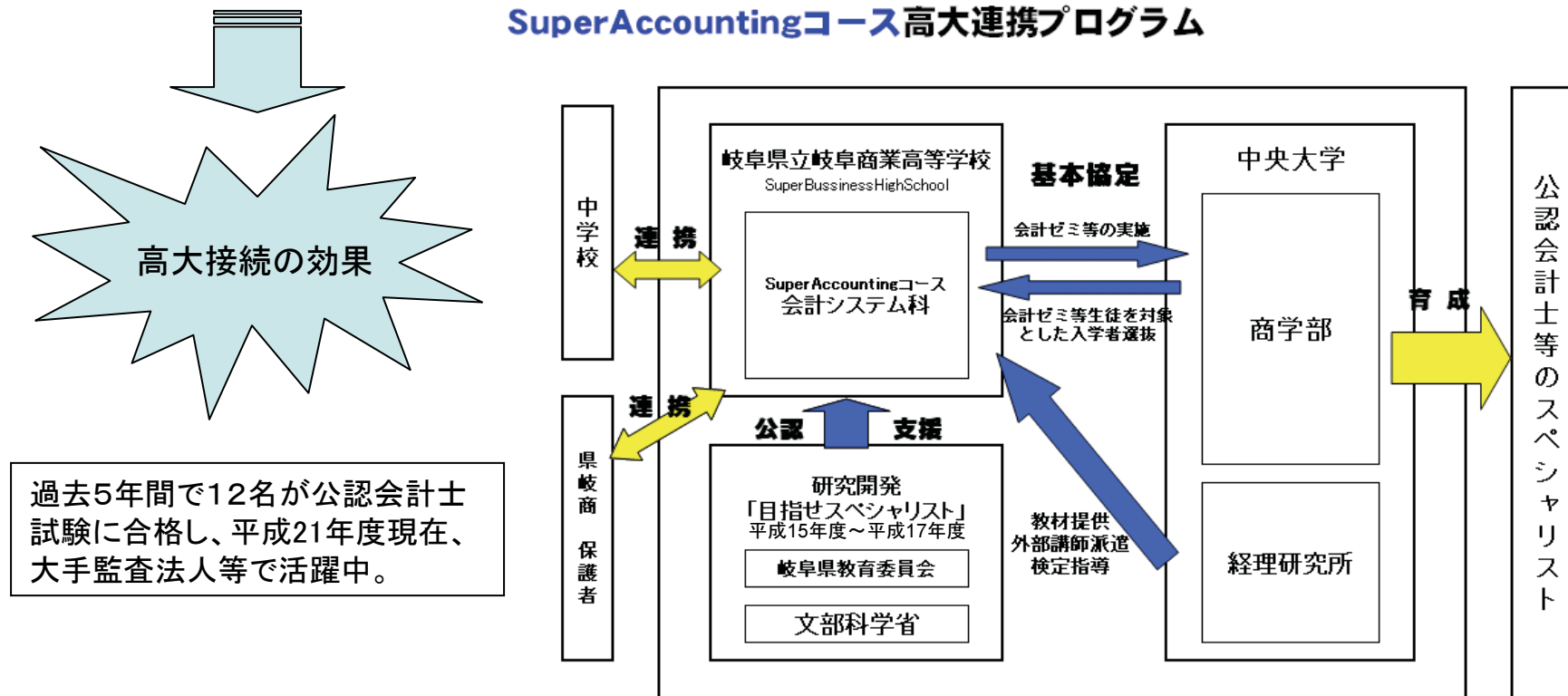


# 専門高校における職業教育の実践例① ～ 岐阜県立岐阜商業高等学校 ～ (卒業後更に高度な知識・技能を身に付け、将来の専門的職業人として活躍できる人材の育成)

## 中央大学商学部との高大接続プログラム(岐阜アカウティングプログラム)の概要

- 日商簿記検定1級又は全経簿記検定上級合格者で、一定の評定以上の成績と学校長の推薦があり、将来公認会計士を志望する者で中央大学への進学を希望する者が中央大学が実施する「会計ゼミ」を受講。会計ゼミの成績と面接で大学への合否が判定される。これら「会計ゼミ」は大学入学後、「高等簿記論Ⅰ」2単位として認定。
- 「会計ゼミ」受講生は、商学部とは別に、公認会計士を養成する専門機関である中央大学経理研究所より出前授業や教材の提供を受けるとともに、大学進学後は、経理研究所に身を置き、公認会計士を目指し学習。
- 「会計ゼミ」の内容は、財務会計の基礎から応用、管理会計論、監査論、税務会計論、会計システム論と会計学全般の内容が実施され、すべてゼミ形式で実施。

### SuperAccountingコース高大連携プログラム



# 専門高校における職業教育の実践例② ～ 地域産業の担い手育成プロジェクト(熊本県)～ (卒業後それぞれの職業に就き、地域の産業・社会を担う人材の育成)

熊本県立菊池農業高等学校、鹿本農業高等学校、阿蘇清峰高等学校の取組

## 事業内容

- 生徒の現場実習  
望ましい勤労観、職業観を醸成するために年間を通じた長期の実習を週1回、年間14回程度実施。
- 農業経営者の実践的指導  
第6次産業的な先進的な視点での知識・技術等の幅広い授業を展開する。
- 教員の農業経営者等での技術研修  
農業経営者での技術研修等を実施し、総合的・複合的な指導力や研究開発能力を高める。
- 地域資源を活用した商品開発等共同研究  
地域資源を活用した商品開発等共同研究を充実させる。

## 将来像

- 地域の農業に貢献する実践的農業技術者・地域リーダー
- 地域農業界と連携・協働した共同研究等による地域活性化
- 教員の総合的な指導力及び研究開発能力の向上

## 3年後の自立化

- 農業関係高校12校での熊本版農業経営者等人材育成デュアルシステムの導入
- 「農業経営者育成プログラム」の定着と継続した人材育成

## 平成20年度の達成目標

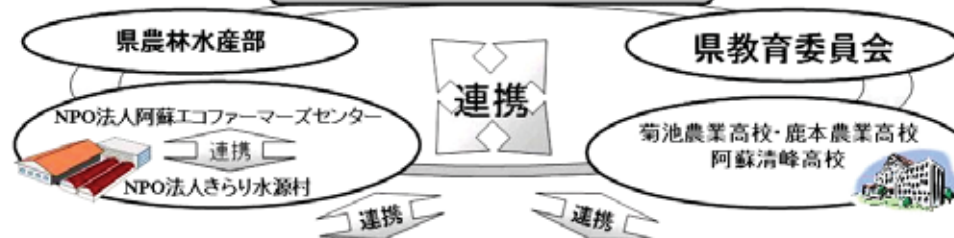
目標	実績
①生徒の現場実習の日数 :14日以上	①3～14日 ※学校によりバラツキが生じた。
②農業経営者等による特別授業の満足度:80%以上	②90.8%
③地域資源を活用した新商品等共同研究と地域課題解決への取組:1校1開発以上	③1校1開発 菊池農業高校(ヤーコンソーセージ) 鹿本農業高校(コメロンパン) 阿蘇清峰高校(湧水を活用したイチゴ栽培の基礎技術)

## 地域産業の担い手育成プロジェクト(熊本県農と食の人材育成プロジェクト)

- > 地域農業に貢献する実践的農業技術者・地域リーダーの育成
- > 地域農業界と連携・協働した共同研究による地域活性化
- > 教員の総合的な指導力及び研究開発能力の向上



## 人材育成連携推進委員会



## 農業経営者、農業法人等

	各校共通の取組	特色ある取組
菊池農業高校	● 生徒の現場実習	文部科学省指定農業経営者育成校として人材育成
鹿本農業高校	● 農業経営者等による特別授業	農業経営者等と連携した新商品開発(米粉食品等)
阿蘇清峰高校	● 教員の農家等での技術研修	
	● 地域資源を活用した新商品の共同研究 など	湧水等を活用したイチゴの周年栽培、「竹」の有効活用に関する研究

(出典)「文部科学省、農林水産省連携事業『地域産業の担い手育成プロジェクト』平成20年度 実施報告書(1年次)」より作成

# 専門高校における職業教育の実践例③ ～地域産業の担い手育成プロジェクト(茨城県教育委員会・日立商工会議所)～ (体験的な学習や地域企業と連携を図った現場での長期間の実習など、実践的な教育活動を積極的に実施している事例)

**取組校**

茨城県立日立工業高等学校、茨城県立高萩清松高等学校  
茨城県立常陸大宮高等学校、茨城県立勝田工業高等学校

**事業の概要**

県内屈指の工業地帯である日立地域を核として、県北の4商工会議所等が、地元の工業高校等及び県教育委員会と連携し、地域のものづくりを担う人材育成を図るため、デュアルシステムを核とした生徒の企業実習、ICタグや省エネカーの研究など地元企業と一体となった事業を展開している。また、これまで繋がりの薄かった4校が、共同で小学生向けのイベントや、ワークショップを実施するなど、取組を地域全体に広げる試みを推進している。



**〈取組校の例〉 茨城県立日立工業高等学校**

- 内容  
日立工業高等学校の2年生の生徒17名が、地元企業で1年間にわたって技術実習を行った。生徒の希望に即した実習が積めるように配慮されるなど、将来の進路に役立つ技術の習得に努めた。変電器製造業の茨城電機工業(株)では、実際に製品を作る責任を伴う作業のほか、仕組みへの理解や達成感を味わうため、小型機器を独自で作る過程や社会としてのルール・職業観・勤労観についても熱心な指導がなされる。
- 成果  
実習は週1回継続的に実施していることから、生徒の技術・技能・職業観の向上や、成果発表会に見られるコミュニケーション能力の向上などがあった。また、生徒及び高等学校との受け入れ企業に良好な関係が築かれつつあり、実習以外の学校の取り組みにも企業の協力が得られるなど高等学校と地元企業にとって、新たな協力関係が生まれはじめている。この取り組みは、事業全体の核となる取り組みで、茨城県の広報TV番組でも紹介された。



(出典)「平成20年度 中小企業ものづくり人材育成事業(工業高校等実践教育導入事業)に係る成果事例集」(経済産業省中小企業庁)より作成

# 専門高校における職業教育の実践例④ ～ 東京都立六郷工科高等学校 ～

(体験的な学習や地域企業と連携を図った現場での長期間の実習など、実践的な教育活動を積極的に実施している事例)

## 事業の概要

- 産業界と高校とのパートナーシップを深め、協同して人材育成を行う職業教育。
- インターンシップよりも長い期間、ものづくり企業での就業訓練を行い、学校外における学修として単位認定される。
- 企業と生徒の双方が合意すれば、卒業後にその企業へ就職することも可能である。

1年次前期に数多くの企業見学を導入し、働く事への「動機付けを十分に行った上で、就業訓練を段階的に行っている。



(企業における学習風景の例)



金属絞り技術を学ぶ高校生



精密加工技術を学ぶ高校生

## 企業との連携のポイント

- 高卒者の採用を見込んでいる地区内企業の中から本枠組の参加を募っている。
- 生徒は実習する企業での就職を視野に入れて、実習企業を選定する。
- 定期的に高校教員が企業を訪問し、企業実習について連絡調整を行っている。
- 実習に参加した全生徒による成果体験発表会に実習受入企業も参加している。
- 長期就業訓練実施に際して指導・助言を得るため、学校関係者、大田工業連合会代表、実習受入企業代表、学識経験者、都教育委員会、都産業労働局で構成するデュアルシステム推進委員会を設置し、実習内容の改善を図っている。

## 導入の効果

生徒

- 勤労観・職業観が身につく、進路決定も積極的になる。
- 実践的な技能・技術が身につくとともに、学校での基礎的な学習の大切さに気づく。
- 挨拶、コミュニケーション・プレゼンテーション能力が早い段階から身につく。
- より自分の能力を生かせる企業に就職できる(ミスマッチの減少)。

企業

- 生徒受入れにより職場に活気が出るとともに、受入れのための研修により、社員の能力向上につながる。
- 採用時におけるミスマッチが少なくなり、早期離職を回避できる。
- 実践的な技能・技術を有するため、入社後の育成期間が短縮できるとともに、後継者が確保できる。
- 受入れ生徒の安全確保のため、「災害ゼロ」が達成される。

(資料提供)東京都教育委員会



# 専門高校における施設・設備等を効率的・効果的に活用している例

## 専門高校の拠点校整備(広島県教育委員会)

### 県立高等学校再編整備基本計画(関連部分)

#### ●拠点校の整備

農業・工業及び商業の各学科については、地域的なバランスを考慮しながら拠点校化し、普通科や総合学科も含めた本県における職業教育のセンター的な機能を持たせるため、学科の改編を含めた教育内容の見直しを行うとともに、最新の施設・設備を重点的に整備

### 拠点校の目指す教育

#### ●生涯にわたり学び続ける意欲をもったスペシャリストの育成

- 産業の高度化に対応した、専門性の習得
- 高度な資格取得
- 上級学校への進学
- 県内企業への人材供給
- 県内の職業教育のセンター的役割

学校名	整備年度	整備内容	センター的役割例
広島工業	平成16	レーザー加工機整備 3次元測定器整備 等	・工業高校生等対象の技術講習会 等
西条農業	平成17	動物科学棟建築	・動物バイオに係る研修会 等
福山工業	平成18	レーザー加工機整備 NC旋盤教育システム 等	・地域の高校生等に拠点校設備公開 等
庄原実業	平成19	園芸用温室及び実習棟建築 太陽光発電システム設置工事	・他校への先端技術等の提供
広島商業	平成19	販売実習室及び販売実習のための付属設備整備	・中学校出前授業 等
尾道商業	平成20	販売促進実習のための模擬オフィス等の整備	・中学生の販売実習 等

## 県を越えた同一学科の連携(栃木県と茨城県の水産高校)

### 連携校の現状

- 栃木県立馬頭高等学校
  - ・ 全国唯一の淡水魚を主とした栽培漁業を行う水産科を有する普通科との併設校
- 茨城県立海洋高等学校
  - ・ 本科4クラス(海洋技術科、海洋食品科、海洋情報科、海洋工学科)及び専攻科を有する水産科単独校
  - ・ 全国でも有数の水深10メートルの潜水プールを整備。

### 連携の内容等

#### 茨城県の施設・設備を活用した馬頭高等学校の実習内容

#### ●水産基礎の基礎実習(1年次)

##### 1 目的

船と海に対する理解を深めさせるとともに、河川では実施できないカッターを主とした実習を行うことにより集団の一員としての協調性を養う。

##### 2 内容

カッター、潜水、ロープワーク

##### 3 使用施設・設備

茨城県立海洋高等学校所有のカッター、潜水プール、潜水機材等

#### ●潜水実習(3年次)

##### 1 目的

ダイビング(潜水)に関する基礎的な知識と技術についての指導を行うことで、ダイビングの概要を理解させ、栽培漁業や海洋環境等に生かす術を身に付けさせる。

##### 2 内容

高等学校潜水検定3級(民間のBasic Diverクラス)の内容に沿って実施。

##### 3 使用施設・設備

茨城県立海洋高等学校所有の潜水プール、潜水機材等

# 不登校や中途退学を経験している生徒等の受入れに 対応している専修学校高等課程の例

## 【生蘭学園生蘭高等専修学校】 神奈川県綾瀬市

(取組内容)

- 「中学校時代欠席が多かった生徒や学習面でつまづきのある生徒を対象にした「適応コース」を設置。同コースにおいて、少人数制の個々の状況・特徴に応じた多様なクラスを開設。
  - ・適応クラス・・・1クラス16名～20名の少人数で、対人関係が苦手であったり、中学校時代欠席が多かった生徒が、基礎学習から応用力まで力を伸ばすことを目標とする。
  - ・学習開発クラス・・・1クラス16名～20名の少人数で、基礎学習の定着を目標に、一つ一つの学習を丁寧に実施する。
  - ・基礎クラス・・・1クラス25名～30名の普通学級。学習の基礎的内容の復習から開始し、着実に基礎力を高める。

## 【岩谷学園高等専修学校】 神奈川県横浜市

(取組内容)

- 「中学校で欠席が多かった」、「コミュニケーションが苦手」等の特徴をもつ生徒のために、生徒が学校の学習・生活の流れにスムーズに乗れるよう、放課後学習・個別指導の場(「アップルーム」)を設置・常時開放し、サポートを実施。
- 一人一人の進路・目標を見据え、生徒の基礎学力の定着や技能修得(各種検定・資格試験)に向けた特別授業(「ダブルアップ」)を実施(週1回)。
- スクールカウンセラーを配置し、生徒の学校生活における悩みや保護者からの相談に対応。

## 【武蔵野東技能高等専修学校】 東京都武蔵野市

(取組内容)

- 編入学試験、編入学枠の設定など、高等学校等中退者向けの受入れ体制を構築。
- 1クラス35人前後、かつ、習熟度別の学級編制。1クラスに担任・副担任の2人の教員を配置し、生徒一人一人の個性・適正を踏まえつつ、きめ細やかな指導を実施。